

公益財団法人 山口育英奨学会

事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその実績

(単位:千円)

事業別	予算額	決算額	実施割合
育英奨学事業	74,838	74,844	100.00%
学術研究等助成事業	27,293	25,581	93.72%
資料館庭園運営管理事業	33,699	28,671	85.07%

(2) 直前3事業年度の財産および状況

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (当該事業年度)
経常収益	161,844	161,169	168,001	172,372
評価損益等調整前 当期経常増減額	27,598	10,605	13,331	18,887
当期経常増減額	542,270	△139,121	3,507	1,284,522
正味財産期末残高	4,318,135	4,153,095	4,172,170	5,477,229

(3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
①育英奨学事業	学生に対し奨学金の無利子貸与 学生集会を開催し学生の指導育成と相互交流
②学術研究等助成事業	大学等における学術の研究者に対して助成金を給付 自然環境保護活動を実施する団体に対しての助成金給付 当会の事業目的に合致する公益事業活動をする団体への助成
③資料館庭園運営管理事業	郷土資料館の運営および一般公開 庭園・山林・遊歩道の整備と自然環境保全活動

(4) 従たる事務所の状況

名 称	所在地	事業内容
東京事務所	東京都 品川区大崎	首都圏の大学等への当会事業の周知 公益事業活動の助成対象団体の情報収集 金融情報収集

(5) 重要な契約に関する事項

契約年月日 (契約期間)	相手方	契約金額	契約の概要
令和6年4月1日 (5年間)	EY 税理士法人	1年間 1,320,000円	定期提出書類の作成支援および 会計等に関する相談業務

(6) 事務局に関する事項

職名等	氏 名	就職年月日	担当事務
事務局長	原 久晴	昭和 61. 4. 7	事務局総轄
事業部長	荒井 能弘	平成 22. 9. 1	本部事務・会計・資料館管理
一般事務	中沢 高則	令和 2. 11. 1	奨学金・研究助成金・庭園管理
一般事務	山口 広美	平成 13. 2. 20	建物内管理・事務所庶務

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 5. 5. 25	令和 4 年度事業報告・計算書類等承認について	可決
〃	第 12 回定時評議員会招集および提出議案について	可決
〃	令和 5 年度新規採用奨学生選考について	可決
〃	令和 5 年度学術研究助成について	可決
〃	令和 5 年度自然環境保護活動助成について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承
令和 6. 3. 28	令和 5 年度学術研究助成(その他助成)について	可決
〃	令和 6 年度事業計画の承認について	可決
〃	令和 6 年度予算の承認について	可決
〃	「構築物建設積立資金規程(舗装)」について	可決
〃	評議員選定委員選任について	可決
〃	評議員選定委員会に提出する評議員の選定について	可決
〃	選考委員選任について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承

② 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 5. 6. 22	令和 4 年度事業報告の内容報告について	了承
〃	令和 4 年度の計算書類の承認について	可決
〃	理事の任期満了に伴う選任について	可決
〃	監事の任期満了に伴う選任について	可決

(8) 株式の保有状況

企業名	保有株式数	保有割合	企業との関係
ENEOS ホールディングス(株)	3,927,000 株	0.12948%	取引なし
北越メタル(株)	55,600 株	1.39208%	取引なし
住友商事(株)	35,000 株	0.00286%	取引なし
(株)三菱 UFJ フィナンシャルグループ	10,000 株	0.00008%	取引なし
武田薬品工業(株)	5,000 株	0.00031%	取引なし

## 2 役員等に関する事項

### (1) 理事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
理事長	山口敬太郎	2年	常勤	規程による	
常務理事	原久晴	2年	〃	〃	事務局長
理事	森地茂	2年	非常勤	〃	
〃	若杉敬明	2年	〃	〃	
〃	一色誠一	2年	〃	〃	
〃	田波耕治	2年	〃	〃	

### (2) 監事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
監事	高橋實	2年	非常勤	規程による	
〃	西尾進路	2年	〃	〃	
〃	大田勝幸	2年	〃	〃	

### (3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
評議員	江中八洲彦	4年	非常勤	規程による	
〃	古瀬裕	4年	〃	〃	
〃	福壽道夫	4年	〃	〃	
〃	山崎正	4年	〃	〃	
〃	高橋讓	4年	〃	〃	
〃	青柳隆広	4年	〃	〃	
〃	田中聡一郎	4年	〃	〃	令和5年5月22日就任
〃	山口謙太郎	4年	〃	〃	令和5年5月22日就任

### (4) 役員等の報酬

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	6名	20,745千円	
監事	3	189	
評議員	8	245	
合計	17	21,179	

## 事業報告の附属明細書

### I 事業に関する記載事項

#### 1 育英奨学事業について

##### (1) 奨学金貸与者数および貸与額

区 分	継 続 奨学生	新採用 奨学生	貸与者 合計(名)	奨学金貸与額 (千円)	奨学金返還免除額 (千円)
大学院生	5	3	8	4,550	900
大学生	58	23	81	47,700	9,250
短大生	0	0	0	0	0
高専生	0	0	0	0	0
留学生	10	10	20	8,050	1,100
合 計	73	33	109	60,300	11,250

##### (2) 奨学金返還者数および返還額

区 分	貸与奨学金返還者 (名)	返還額 (千円)
大学院生	28	2,732
大学生	150	37,448
短大生	4	545
高専生	1	90
高校生	1	55
留学生	30	5,359
合 計	214	46,229

##### (3) 学生集会

奨学生の研修指導育成を図るため 学生集会を8月23日～24日(1泊2日)に開催した。来賓による講演会と講話、自然環境保全活動の理解を目的とした山林保全作業と廃材を使った木工作品づくりなどを行った。参加者は65名であった。なお、集会に参加した奨学生には2か月分の返還免除を行った。

## 実施内容

1 日目 23 日 (水)	13:30 集合 開会 理事長挨拶、役員紹介、学生自己紹介
	講演会 演題 「日本経済の挑戦-大転換期をいかに乗り切るか-」 大田 弘子 氏 (政策研究大学院大学 学長)
	講話 「企業の人事担当者から見た就職活動について」 宮崎 仁志 氏 (ENEOS 株式会社 人事部)
	元奨学生の体験談「人生の岐路に立つあなたへ」 内部 錦 (資生堂 R&D みらい開発研究所プロジェクトリーダー)
2 日目 24 日 (木)	山林保全作業 (植林地の下草刈り、間伐、薪割作業の体験)
	ワークショップ 「廃材で好きなものを作ってみよう！」
	郷土資料館・庭園の見学
	16:30 閉会 JR 長岡駅へ移動、解散

### (4) その他

機関誌「山びこ」56号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

## 2 学術研究等助成事業について

### (1) 学術研究助成

指定校から推薦された次の研究に対して、各 800,000 円を上限とし、総額 14,327,000 円の助成金を交付した。

- ① 信州大学 学術研究院 (農学系) 生命機能科学 教授 小西 博昭  
研究題目 リン酸化プロテオミクスにより見出したアダプタータンパク質の機能とヒト疾患との関連
- ② 信州大学 学術研究院 (理学系) 准教授 武田 貴志  
研究題目 電子供与性チオフェンユニットのみから構成される立体的な共有結合多孔体の創成と機能
- ③ 長岡工業高等専門学校 機械工学科 准教授 佐々木 徹  
研究題目 FRP/FRP 接着継手の両被着体における補強繊維配向・配置の条件の最適化

- ④ 長岡工業高等専門学校 物質工学科 教授 赤澤 真一  
研究題目 ミミズ養殖を核とした農林業廃棄物の資源化と代替タンパク質の開発
- ⑤ 群馬大学 大学院理工学府 准教授 三浦 健太  
研究題目 共スパッタ法による ZnO 薄膜中への Ag ナノ粒子分散形成と発光増強への展開
- ⑥ 秋田大学 大学院理工学研究科 准教授 肖 英紀  
研究題目 メカニカルアロイングおよび放電プラズマ焼結によるスキルミオン物質合成
- ⑦ 東京工業大学 理学院 (物理学系) 助教 山本 和樹  
研究題目 散逸と強い相互作用の協奏が切り開く非平衡多体物理の開拓
- ⑧ 山形大学 学術研究院 (理学部主担当) 助教 金尾 太輔  
研究題目 温泉環境に生息する節足動物相の解明
- ⑨ 長岡技術科学大学 物質生物系 准教授 山本 麻希  
研究題目 持続可能な森林資源の利活用に向けた里山林の経済価値評価に関する研究
- ⑩ 長岡技術科学大学 技術科学イノベーション系 准教授 佐々木 徹  
研究題目 次世代極端紫外光を用いた半導体リソグラフィのための電磁流体制御を用いたプラズマの強制除去方法の開発
- ⑪ 東京大学 大気海洋研究所 国際・地域連携研究センター 助教 大土 直哉  
研究題目 岩手県産サワガニ類の季節的な移動の研究ー特に超小型発信器を用いたテレメトリーの適用可能性の検討
- ⑫ 東京大学 宇宙線研究所 助教 播金 優一  
研究題目 最新大型望遠鏡を用いた宇宙初期の銀河の観測的研究
- ⑬ 新潟大学 自然科学研究科 助教 寺西 正輝  
研究題目 テレセントリック光学系と有限要素解析を駆使した木材接合部めり込みのひずみ場の評価
- ⑭ 新潟大学 工学部 機械システム工学プログラム 助教 渡邊 智洋  
研究題目 畦畔上で除草を行うアウトリガーアーム装着ロボットのための斜面横断経路追

## 従制御システムの構築

- ⑮ 新潟大学 自然科学系 特任助教 坪ノ内 優太  
研究題目 低濃度二酸化炭素還元を促進する高効率分子性触媒電極の開発
- ⑯ 富山大学 学術研究部 工学系 助教 岡田 卓哉  
研究題目 ダサチニブをシード化合物とした新規難病アミロイド病治療薬の開発
- ⑰ 東北大学 大学院生命科学研究科 助教 番場 大  
研究題目 マメ科植物-根粒菌共生関係における特異性を決定する遺伝基盤とその進化過程の解明
- ⑱ 東北大学 ニュートリノ科学研究センター 助教 渡辺 寛子  
研究題目 海洋底地球ニュートリノ観測による地球理解の新展開：世界初の海洋底検出器の実現

## (2) 自然環境保護活動助成

自然環境保護活動に取り組む団体に対して、各 500,000 円を上限とし、総額 5,207,240 円の助成金を交付した。

- ① チーム・おぐに  
活動名 越後カントリートレイル コース保全活動
- ② 小千谷市の棚田を楽しむ会  
活動名 田圃脇の水溜への道管の設置に係る工事など、また単管などの資材の購入のため
- ③ 猿橋集落  
活動名 猿橋神社景観保全活動
- ④ 長岡野鳥の会  
活動名 トレイルカメラ(赤外線センサー付き自動撮影カメラ)による撮影動画を用いた野鳥観察及び野鳥保護思想の普及活動の試み
- ⑤ 上栗集落活性化委員会  
活動名 清水湧水地の修復と、自然用水路の整備と、ため池の清掃



- ⑥ 下村振興協議会  
活動名 下村集落から八石遊歩道(登山道)の補修：整備及び遊歩道周辺の山野草の群生地の保全活動
  
- ⑦ 火打池保存会  
活動名 火打池保全活動
  
- ⑧ 特定非営利活動法人 新潟の科学・自然探偵団  
活動名 中山間地の小規模校や離島の子ども達、及び障がい者や高齢者を対象とした自然環境保護活動・科学技術理解促進活動
  
- ⑨ 里山ハーモニー  
活動名 みんなの山「みのり」山林竹林整備事業
  
- ⑩ 西山の自然を豊かにする会  
活動名 在来希少種の保護活動と外来種対策
  
- ⑪ 千谷沢集落 千谷沢集落活性化委員会 西国三十三番霊場の環境整備部会  
活動名 西国三十三番霊場を中心とした自然と里山の調和
  
- ⑫ こしじまちづくり協議会  
活動名 巴ヶ丘周辺の整備
  
- ⑬ Eco village SHELTER project  
活動名 暮らしが息づく持続可能な里山保全～森の中のエコビレッジづくりとオルタナティブスクールぐるりの森の学美園
  
- ⑭ みちばた案内人の会  
活動名 山本山周辺の野生動物生息調査
  
- ⑮ 長岡市立小国小学校  
活動名 小国の自然とともに生きていく～小国のためにできること
  
- ⑯ あじさい塾  
活動名 里山再生事業

(3) その他助成

学術研究等助成事業の「その他助成」として総額 4,650,000 円の助成金を交付した。

- ① 公益社団法人 日本女子プロ将棋協会
- ② 公益財団法人 日本ユースリーダー協会
- ③ 公益財団法人 日本ナショナルトラスト
- ④ 学校法人 国際大学 (IUJ)
- ⑤ チーム・小国
- ⑥ ながおか技術教育支援機構
- ⑦ 地域間文化交流による人材育成プロジェクト実行委員会

(4) 学術研究助成報告会の開催

10 月に「学術研究助成報告会」を開催し、令和 4 年度に助成金を交付した研究者 20 名のうち参加を依頼した 3 名が、研究の経過や成果について報告を行った。

### 3 資料館庭園運営管理事業について

- (1) 当会の資料館および庭園・山林と遊歩道を 4 月下旬から 11 月下旬まで一般公開し見学者を受け入れた。ガイド 2 名を交替で配置し案内や解説を行って見学者の便に供している。見学者は年間 1,190 名であった。
- (2) 当会所有の庭園および山林の遊歩道を散策しながら、植物、野鳥、きのこなどを観察する会を春秋 4 回開催した。植物に関する専門家、長岡野鳥の会、長岡きのこ同好会の協力を得て実施し合計 90 名の参加者があった。
- (3) 庭園隣接地の景観を整備するために荒地を重機で整地し、周囲の立木や雑木の伐採を行った。

- (4) 地域の活性化を図る活動として「山びこ館」で音楽会を開催した。出演者は地元音楽教室の小学生から音楽活動をしている方々4組が演奏し、約50名の来場者が音楽を楽しんだ。
- (5) 将棋を通して地域の人との交流を図る活動として、日本女子プロ将棋協会と日本将棋連盟長岡支部の協力を得て将棋大会を開催した。内容はプロ棋士との指導対局および参加者のトーナメント戦を行った。
- (6) 山口庭園の魅力発信のための写真コンテストを実施し、審査のうえ入賞者に対して表彰式を行った。
- (7) 広報活動として、学生集会・観察会などイベント開催の折、地元テレビ局に取材依頼しテレビ配信した。